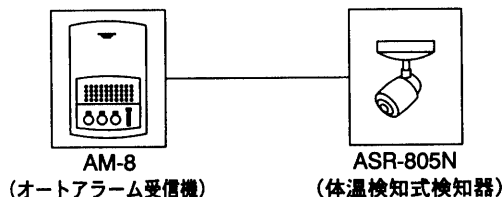


このたびは東芝オートアラームをお買い上げいただきまことにありがとうございます。オートアラームを正しく使っていただくためにこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとも必ず保管してください。
この機器は盗難防止用ではありません。盗難事故などの損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

- 体温検知式セット: AAR-805N
受信機 (AM-8) 1台/検知器 (ASR-805N) 1台

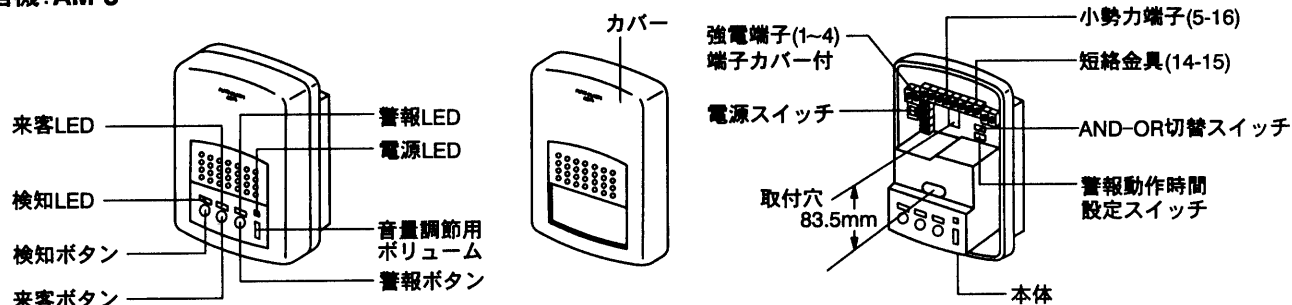


警告

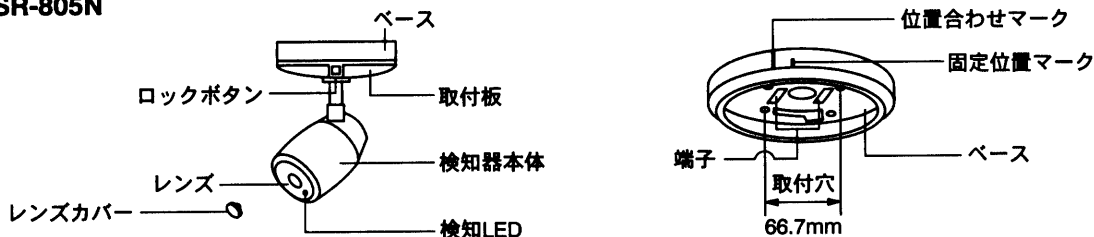
- 電源 (AC100V) を切った状態で施工してください。(活線工事は感電、故障の原因になります。)
- AC100V用の端子以外にはAC100Vの電源線は接続しないでください。(発火発煙の原因になります。)
- 端子への接続は確実に行ってください。(発熱の原因になります。)
- 製品の分解はしないでください。(故障の原因になります。)

各部のなまえ

●受信機: AM-8



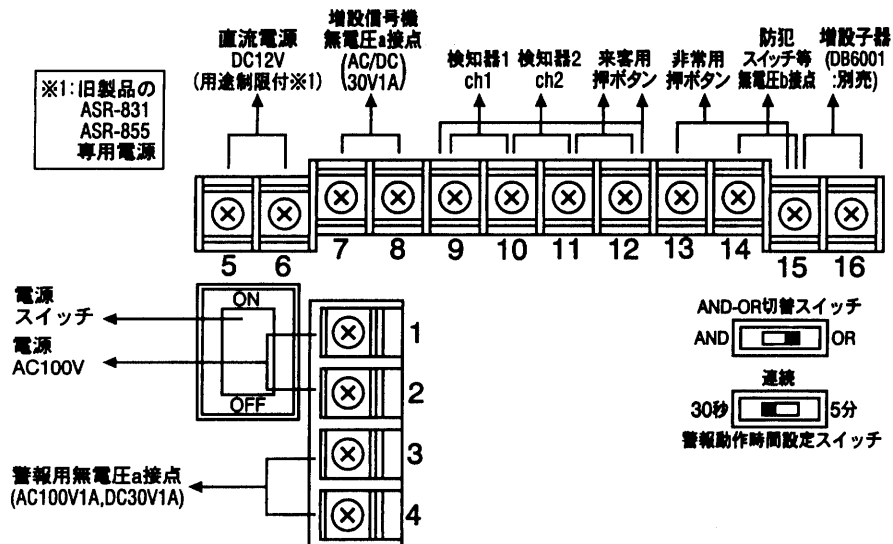
●検知器: ASR-805N



ご注意

- 電源スイッチONで、初期化動作 (約10秒) 後に動作待機モードになりますが、動作待機モードでは検知動作は行いません。かならず来客モード (来客ボタンを押す) または警報モード (警報ボタンを押す) に設定してください。
- 停電などで電源が切れたあと復帰した場合は、動作待機モードとなります。再度、来客モードまたは警報モードに設定してください。
- AC100V電源は絶対に小勢力端子 (5~16) に接続しないでください。
- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。また以下の場所には取り付けしないでください。
 - ストーブなどの暖房器具の真上や、その付近。
 - 浴室内など特に湿度の高いところ。
 - 粉塵、アンモニアガスなど腐食性ガスのある場所。
- AC100V以上の電源線と近接、平行、交差して配線しないでください。(50cm以上離してください。)
- 検知器 (ASR-805N) は、電源を通电してから監視状態になるまで約45秒かかります。
- 検知器 (ASR-805N) は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化 (温度差3℃以上) を検知する方式です。
- 強力な電気雑音や無線ノイズ (タクシー無線など) により誤動作することがありますが異常 (故障) ではありません。
- 小動物 (犬、猫、など) でも動作します。
- 警報モードで動作した場合は、警報動作の停止操作をしない限り設定時間 (30秒、5分、連続) 動作します。
- 器具が汚れた場合は、柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー等の薬品や洗剤では拭かないでください。

配線のしかた



電源スイッチ：電源スイッチをONにすると初期化動作(約10秒)後に動作待機モードになります。動作待機モードでは検知動作は行いません。かならず来客モード(来客ボタンを押す)または警報モード(警報ボタンを押す)に設定してください。

端子

- 1-2:AC100V電源端子です。
 - 3-4:警報動作時専用の増設信号機端子です。(無電圧a接点出力 AC100V1A,DC30V1A)
 - 5-6:直流電源端子です。電圧:DC12V 5:プラス側 6:マイナス側
旧製品のASR-831,ASR-855のうちいずれか1台のみ接続可能です。
 - 7-8:増設信号機端子です。全ての検知時(鳴動時)に動作します。
(無電圧a接点出力 AC/DC30V1A)
 - 9-10(ch1):検知器1の端子です。(来客モード「ピンポン」警報モード「ピーポー」)
 - 10-11(ch2):検知器2の端子です。(来客モード「ボロロ〜ン」警報モード「ピーポー」)
 - 9-12:来客用押しボタン接続端子です。(来客モード「ピンポン」)
 - 11-12:来客用押しボタン接続端子です。(来客モード「ボロロ〜ン」)
※来客用押しボタンは警報モードでは動作しません。
 - 13-15:非常用押しボタン接続端子です。(動作モードに関係なく警報鳴動します。)
(出荷時は短絡金具で短絡されています。防犯スイッチ等を接続する際は必ずこの短絡金具をはずしてください。)
 - 15-16:増設子器(DB6001:別売)を接続する端子です。受信機と同じ音色で鳴ります。
子器単独での音量調節はできません。受信機の音量調節に準じます。
- AND・OR切替スイッチ：「AND」側はch1とch2が同時に検知したときのみ動作します。
「OR」側はch1とch2のいずれかまたは両方が検知したとき動作します。
- 警報動作時間設定スイッチ：警報検知時の動作時間を設定します。(30秒、5分、連続)
(出荷時は「OR」側、30秒側に設定されています。)

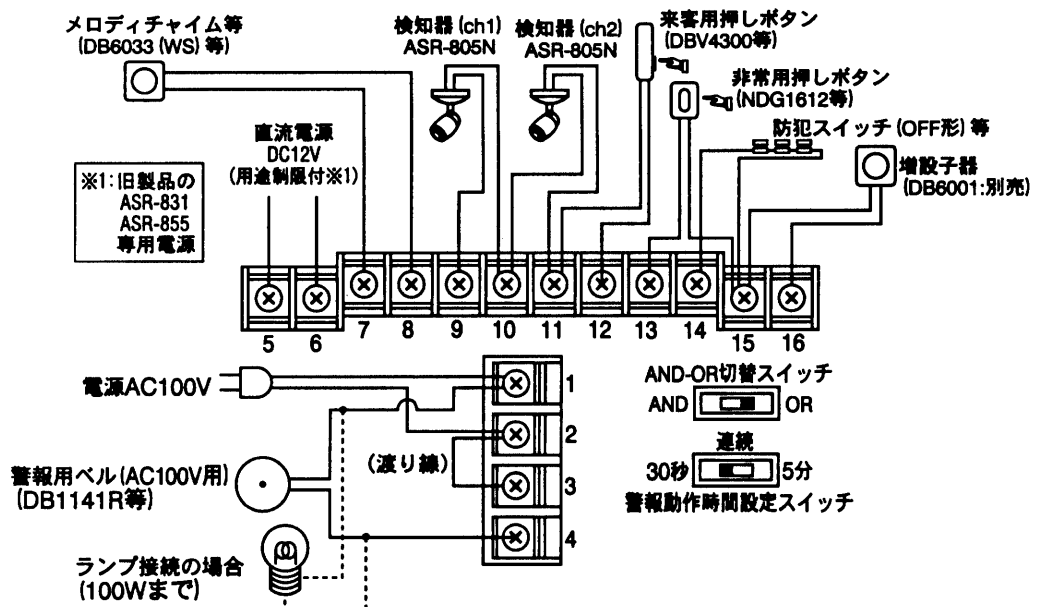
※付属の抵抗(100Ω 2W)は、検知器がない場合にch1、ch2に接続して、動作を確認するためのものです。



ご注意

- 検知器1(ch1:9-10)、検知器2(ch2:10-11)の端子は短絡しないでください。故障の原因となります。
- 警報用無電圧a接点(3-4)の端子や増設信号機無電圧a接点(7-8)の端子に電磁開閉器やリレーなどの励磁コイルを接続した場合は、必ず励磁コイル両端にノイズ吸収素子を接続してください。

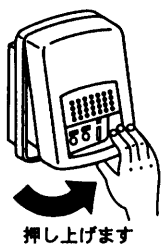
結線例



取り付けかた

(受信機:AM-8)

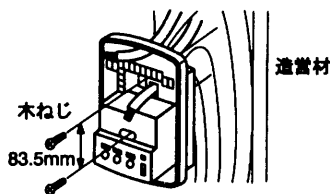
■カバーをはずします。



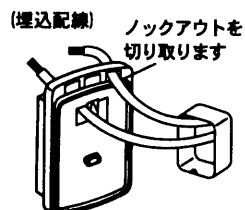
押し上げます

■配線方法

- 露出配線/埋込配線どちらでも可能です。
- 造営材に直接取りつける場合。(露出配線)
付属の木ねじ(M3.5×25 2本)で固定します。

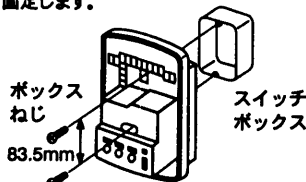


本体上部の通線孔及び
本体中央部の通線孔
(ノックアウトを切り取る)
から通線できます。



本体中央部の通線孔及び
上部の通線孔から通線で
きます。

■スイッチボックスへ取りつける場合。
付属のボックスねじ(M4×30 2本)
で固定します。



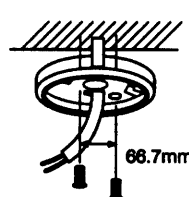
(検知器:ASR-805N)

- 1.ベースをはずします。
- 2.ベースを造営材(天井など
平らな面)に取り付けます。
- 3.固定位置マークに合うように
ロックボタンがカチッとい
うまで本体を回します。

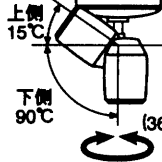
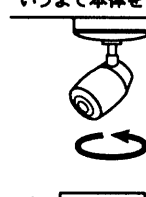


ロック
ボタン

ロックボタンを
押しながら回します。

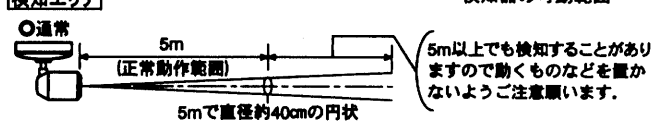


(ベースが歪まないよう取付
ねじの締め過ぎにご注意願
います。
ベースが歪むと接触不良や
故障の原因となります。
取付は、68.7mmピッチで
木ねじで、直付け又は
ボックスへ取り付けます。)

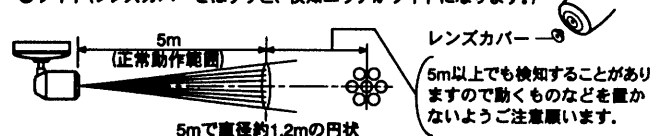


検知器の可動範囲

検知エリア



○通常 5m (正常動作範囲) 5mで直径約40cmの円状



○ワイド(レンズカバーをはずすと、検知エリアがワイドになります。)

使いかた(結線例の場合)

- 本体の電源スイッチを「ON」にします。AM-8は約10秒間 検知、来客、警報のLEDが点滅した後に動作待機モードになります。
- 動作待機モード時は電源LEDだけが点灯します。動作待機モードでは非常用押しボタンからの信号以外は受け付けません。
- カバーをはめて動作モードを設定します。

(検知ボタン: 検知ボタンを押すと、来客モードや警報モードから動作待機モードへ戻ります。右図参照)

- 「来客モード」で使用する場合。

来客ボタンを押します。来客モードになります。検知、来客、電源のLEDが点灯します。

1. 検知器1または検知器2に接続された検知器(ASR-805N)が温度変化(温度差3℃以上)を検知するとそれぞれの鳴動音で受信機から報知音が鳴ります。
(注: ASR-805Nは電源投入後約45秒で監視状態になります。)

- a. 3-4端子の警報用ベルは鳴動しません。
- b. 7-8端子のメロディチャイムは動作します。
- c. 15-16端子の増設子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。

2. 11-12端子の来客用押しボタンを押すと(ch2)の「ポロロ〜」が鳴動します。
その他の動作は、上記1と同じ動作をします。

3. 13-15端子の非常用押しボタンを押すと警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。
鳴動時間は警報動作時間設定スイッチで設定した時間です。

- a. 3-4端子の警報用ベルは鳴動します。
- b. 7-8端子のメロディチャイムは動作します。
- c. 15-16端子の増設子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。

4. 14-15端子に接続された防犯スイッチは働きます。

- 「警報モード」で使用する場合。

警報ボタンを押します。警報モードになるまで約3分(警報待機モード)かかります。
(警報待機モード: 警報のLEDが点滅します。

警報待機モードの約3分間は来客モードと同じ動作をします。)

約3分経過後、警報モードになります。検知、警報、電源のLEDが点灯します。

1. 検知器1または検知器2に接続された検知器(ASR-805N)が温度変化(温度差3℃以上)を検知すると「ピーポー」音で鳴動します。

鳴動時間は警報動作時間設定スイッチで設定した時間です。

- a. 3-4端子の警報用ベルは鳴動します。
- b. 7-8端子のメロディチャイムは動作します。
- c. 15-16端子の増設子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。

2. 11-12端子の来客用押しボタンを押しても動作しません。

3. 13-15端子の非常用押しボタンを押すと警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。
鳴動時間は警報動作時間設定スイッチで設定した時間です。

その他の動作は上記1.と同じ動作をします。

4. 14-15端子に接続された防犯スイッチが動作すると警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。

鳴動時間は警報動作時間設定スイッチで設定した時間です。

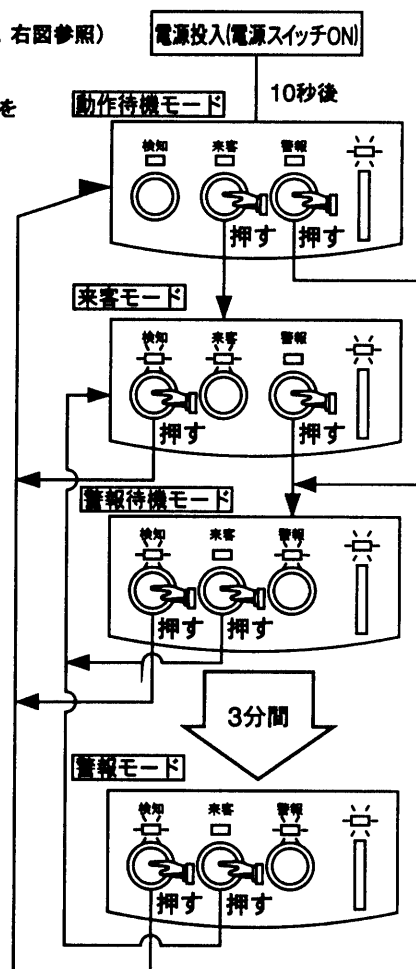
その他の動作は上記1.と同じ動作をします。

※警報動作の途中で警報を停止するには検知ボタンと警報ボタンを同時に押してください。警報動作が停止します。

警報動作の停止後は警報待機モードとなります。

(非常用押しボタン及び防犯スイッチは必ず復帰させてから警報動作の停止操作を行ってください。

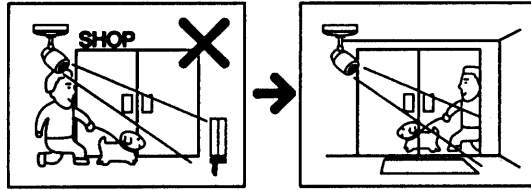
復帰していないと警報動作の停止操作を行っても警報を停止することができません。)



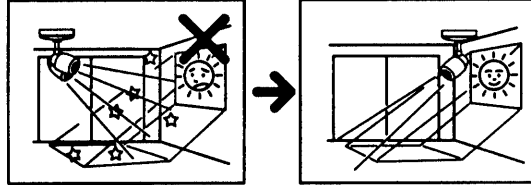
ご注意

体温検知式検知器 ASR-805N

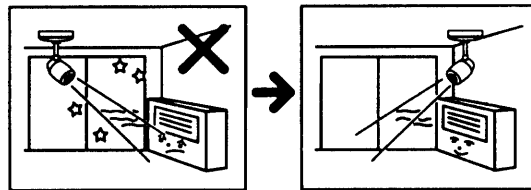
■屋内専用ですので、屋外には取り付けないでください。



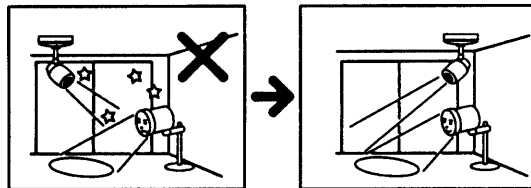
■太陽光が直接入射する窓などには、検知方向を向けないでください。



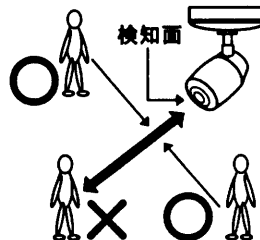
■空調（エアコン）の吹出口へ、検知方向を向けないでください。



■白熱電球などの急激に温度の変化する物へは、検知方向を向けないでください。

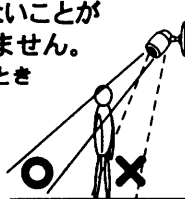


- 人が検知面に向かって出入りする方向では、正常に動作しないことがあります。
- 検知エリアの確認は、必ず実際に動いて確認してください。検知すると検知LEDが点灯します。



- 下記の場合、正常動作しないことがありますますが異常ではありません。

- 検知範囲ギリギリを人が通ったとき
処置 右図を参照して取付場所や方向を変えてください。人間の上半身をねらうように検知方向を向けてください。



- 大きな荷物を持った人や、レインコートなどの体温を伝えにくい衣類を着た人が通ったとき
処置 人間の上半身をねらうように検知方向を向けてください。
- 検知範囲内に金属板や、光沢のあるプラスチック板があるとき。
処置 金属板やプラスチック板をとり除くかまたは取り付け方向を変えてください。
(金属板やプラスチック板は熱線(赤外線)をよく反射するので検知範囲外のものを検知することがあります。)
- 小動物(犬・猫など)が通ったとき
小動物も人間同様熱線を出しますので、検知することがあります。
- 周囲温度が、人間の体温や着衣などの表面温度に近づいた場合。
(温度差3℃以上で検知)

(動作モード一覧表)

※出力側端子は、非常用押しボタンを操作した場合は、動作モードに関係なく全て動作します。

動作モード	入力側端子					※出力側端子		
	検知器1 (9-10端子)	検知器2 (10-11端子)	来客用押しボタン (9-12、11-12端子)	非常用押しボタン (13-15端子)	防犯スイッチ等 (14-15端子)	警報用a接点 (3-4端子)	増設信号機a接点 (7-8端子)	増設子器 (15-16端子)
動作待機モード	×	×	×	○ (ビーポー)	×	×	×	×
来客モード	○ (ピンポン)	○ (ポロロ〜ン)	○ (ピンポン又はポロロ〜ン)	○ (ビーポー)	×	×	○	○
警報待機モード	○ (ピンポン)	○ (ポロロ〜ン)	○ (ピンポン又はポロロ〜ン)	○ (ビーポー)	×	×	○	○
警報モード	○ (ビーポー)	○ (ビーポー)	×	○ (ビーポー)	○ (ビーポー)	○	○	○

点検チェックリスト

人が通らないのに 検知動作をする	●検知エリア内に、急激な温度変化を与えるものがないか	➡原因となるものを取り除く
	●検知エリア内で何か動くものがないか	
	●近くに強い電氣的雑音を出すものはないか	➡雑音源を取り除く、または取付位置を変える
	●検知エリアの延長上(5m以上)で、人やその他動くものがないか	➡検知エリアを調整する
人が通っても 検知動作をしない	●電源は入っていますか	➡電源を入れる
	●来客モード、警報モードになっていますか	➡動作モードを設定する
	●電源を入れて45秒以上経過していますか	➡45秒以上待つ
	●検知方向は、ずれていませんか	➡検知エリアを調整する
	●検知器の前面にしゃへい物はありませんか	➡しゃへい物を取り除く
その他	●端子ねじのゆるみはありませんか	➡端子を締め直す
	●検知面(レンズ)は汚れていませんか	➡柔らかい乾いた布でふきとる

仕様

品名	オートアラーム受信機
形名	AM-8 外形寸法 195(タテ)×130(ヨコ)×52(タカサ)(mm)
定格電圧	AC100V±10% 50Hz/60Hz共用
消費電力	待機時 5W(2W~10W) 動作時 10W(5W~20W)
使用場所	屋内
使用温度	-10℃~40℃
呼び出し音	来客モード………鳴り分け機能有り 検知器1………ピンポンピンポン 検知器2………ポロロ〜ンポロロ〜ン 警報モード………鳴り分け機能なし 検知器1 検知器2 } すべてビーポービーポー 防犯スイッチ等 非常用押しボタン 音量 最小0~75dB(音量調節可能) 警報時は75dBに固定(正面1m)
鳴動時間	来客モード 約3秒 警報モード 約30秒 約5分 連続 (警報動作時間設定スイッチによる切替)
増設信号機	警報用接点(3-4端子) 無電圧a接点出力 1a AC100V1A、DC30V1A 警報時のみ動作 動作時間は、警報動作時間設定スイッチの設定に準ずる 接点(7-8端子) 無電圧a接点出力 1a AC/DC30V1A 全ての鳴動音に動作 動作時間は、鳴動時間に準ずる
検知器接続可能数	ch1(9-10端子)、ch2(10-11端子) 体温検知式(ASR-805N)………各chに1台
来客用押しボタン接続	無電圧a接点入力、ch1(9-12端子)、ch2(11-12端子)………動作は検知器chに準ずる
直流電源	DC12V(5-6端子) 5:プラス側、6:マイナス側 特定の機器のみ接続可能(旧製品のASR-831、ASR-855のいずれか1台のみ接続可能)
防犯スイッチ等 注1	無電圧b接点入力(14-15端子) 出荷時は短絡金具により短絡 警報モードの時のみ動作、動作時間は、警報動作時間設定スイッチの設定に準ずる
非常用押しボタン	無電圧a接点入力(13-15端子) 動作モードに関係なく警報動作 動作時間は、警報動作時間設定スイッチの設定に準ずる
増設子器	外部出力スピーカー端子(15-16端子) DB6001(WS)
操作スイッチ	受信機表面(プッシュスイッチ) 検知ボタン : 動作モードの解除 来客ボタン/警報ボタン : 動作モードの切替「来客から警報への切替時間(約3分)」 音量調節用ボリューム : 音量小(0)~大(Max) 受信機内部 電源スイッチ : 入(ON)-切(OFF) 警報動作時間 : 警報時の動作時間の切替 (30秒-5分-連続) AND-OR切替 : AND-ORの切替(出荷時はOR側) AND側ではch1とch2が同時に検知したときのみ鳴動(音:ch1)
表示	電源(切・消灯、入・点灯)、検知(入・点灯、鳴動時・点滅)、来客・警報
取り付け	スイッチボックス取付(取付ピッチ83.5mm)埋込・露出配線可
付属品	電源コード、チェック用抵抗、木ねじ2本、ボックスねじ2本

品名	オートアラーム検知器(体温検知式)
形名	ASR-805N
電源	DC12V 2線式無極性
消費電流	監視時:約3mA 検知時:約100mA
検知方式	赤外線レベル変化感知式
使用場所	屋内専用
使用周囲温度	-10℃~45℃
検知エリア	検知距離 約5m 5mの距離で直径約(40cm)の円状 ワイド検知:レンズカバーをはずす 5mの距離で直径約(1.2m)の円状
検知対象	通常の人間の歩行速度(約0.3m/秒~3m/秒)
検知表示	検知LEDによる表示(検知時点灯)
取り付け	造営材へ直取付またはボックス取付 (ボックス取付時の取付ピッチは66.7mm) 埋込配線、露出配線

検知器(ASR-805N)と受信機間の配線距離

使用電線	配線距離
0.5 mm ² (20心/0.18mm) φ0.8mm	50m
0.75mm ² (30心/0.18mm) φ1 mm	70m
1.25mm ² (50心/0.18mm) φ1.2mm	100m
2.0 mm ² (70心/0.26mm) φ1.6mm	100m

注1. 無電圧b接点入力(防犯スイッチ等)の端子を使用する場合は、配線抵抗及び接点の接触抵抗の合計が100Ω以下になるようにしてください。

修理・サービス

ご使用中に、異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店(工事店)へ、ご相談ください。

東芝ライテック株式会社

〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL03-5463-8527

(23372)E